

□全国学力・学習状況調査の概要

平成27年4月21日に実施され、七飯町の小学校8校の240名の6年生と、中学校4校の240名の3年生が参加しました。

教科に関する調査は、国語、算数・数学、理科で、主として「知識」に関する問題〔国語A、算数・数学A〕と、主として「活用」（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など）に関する問題〔国語B、算数・数学B〕が出題されました。理科は知識と活用に関する問題がほぼ1：2の割合で出題されました。

また、生活習慣や学習環境等に関する87項目の児童生徒質問紙調査と児童生徒の様子や指導の状況等110項目程の学校質問紙調査も実施されました。

- 各教科の調査結果は、主に平均正答率で示され、その差で全国や全道との比較ができるようになっていますが、正答率と正答数の関係にも注意を払う必要があります。
- 今年度の調査の出題数は教科ごとに異なりますが、小学校で最少9問・最多24問、中学校で最少9問・最多36問を出題しています。
- 最少9問の小学校国語Bの平均正答率は全道と2.0%の差で平均正答数の差は0.2問です。最多24問の小学校理科の平均正答率の差は4.6%の差で平均正答数の差は1.1問です。
- 最少9問の中学校国語Bの平均正答率は全道と0.8%の差で平均正答数の差は0.1問です。最多36問の中学校数学Aの平均正答率の差は7.9%の差で平均正答数の差は2.9問です。
- 学校質問紙調査は学校数（町内小学校8校、中学校4校）を単位とし、少数で処理されるので、大まかな傾向は把握できますが、統計上正確さを欠くことがあります。

- 掲載資料の平均正答率や児童生徒質問紙・学校質問紙調査の、全国や全道との比較の文章表記は、下記の区分により使い分けを行っています。

(全国・全道より)	相当高い	+7以上	
〃	〃	高い	+5～+7
〃	〃	やや高い	+3～+5
〃	〃	ほぼ同様(上)	+1～+3
〃	〃	同様	0～±1
〃	〃	ほぼ同様(下)	-1～-3
〃	〃	やや低い	-3～-5
〃	〃	低い	-5～-7
〃	〃	相当低い	-7以下